

バングラデシュ国・ミャンマー国 ポリオ対策基礎調査報告書

平成13年1月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

国際協力事業団では、世界保健機構のめざす「2000年ポリオ根絶」への協力の一環として、バングラデシュ人民共和国(以下、バングラデシュ)に対し、1995年以来継続して無償資金協力を実施するとともに、1999年からこれまでに7名の青年海外協力隊派遣を行ってきました。

これらの協力の成果で、バングラデシュではポリオ根絶計画の最終段階を迎えるとともに、同国のみならず国境を接する南西アジア諸国においてもこの3、4年が最も大切な時期になると考えられています。そのため、バングラデシュにおける協力隊員の活動状況、ポリオ根絶計画の進捗状況の実情、また、国境を接するミャンマー連邦(以下、ミャンマー)の状況もあわせ調査し、同地域でのポリオ根絶計画の最終段階におけるわが国の協力のあり方、今後の方向性を検討することを目的として、2000年12月に基礎調査団が派遣されました。

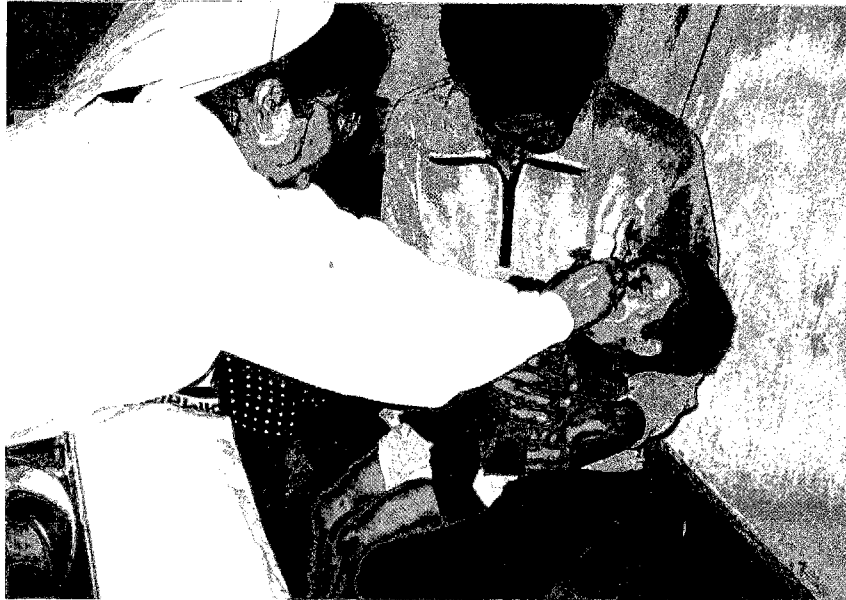
本報告書は、同基礎調査の調査結果を、帰国後の国内作業を経て取りまとめたものです。本報告書が今後のポリオ対策の検討の一助となることを心から望みます。

最後に、本件調査にご協力ご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝の意を表します。

平成13年1月

国際協力事業団

理事 阿部英樹



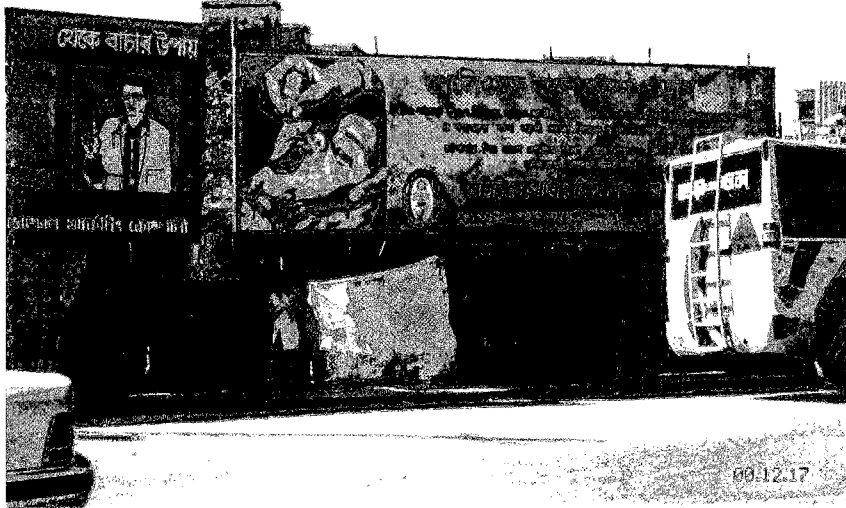
NIDでのワクチン接種の様子



NIDサイトの1つである
バス停の様子



NIDサイトの1つである
Mitford Medical College Hospital
の様子



NIDキャンペーンの看板



EPIでの協議の様子



EPI内のJOCVオフィスにて
(左から杉林シニア隊員、
荘田隊員、小林団員、
岩田隊員、宮田隊員、
相木隊員、三苫団長)



MCHTI



ダッカ市内(リキシャの渋滞)

目 次

序 文
写 真

バングラデシュ編

1 . 調査概要	3
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	3
1 - 2 団員構成	3
1 - 3 調査方法	3
1 - 4 調査日程	4
1 - 5 主要面談者	5
2 . ポリオ根絶計画の現況	6
2 - 1 NID(全国一斉投与)について	6
2 - 2 AFP(Acute Flaccid Paralysis / 急性弛緩性麻痺)サーベイランス	7
2 - 3 モップアップについて	8
2 - 4 野生株ポリオ患者の状況	8
2 - 5 今後の計画	9
3 . 協力隊員の活動概要、今後の課題と提言	10
3 - 1 隊員の業務内容	10
3 - 2 隊員配属先概要	10
3 - 3 活動のレビュー	11
3 - 4 隊員活動の問題点	12
3 - 5 今後の活動の課題	14
3 - 6 今後の展望および提言	15
4 . 関係機関との協議結果	16
4 - 1 EPI事務所と援助機関	16
4 - 2 協議結果の概要	17

5 . 調査結果および今後の方針	19
6 . 団長所感	20

附属資料

JOCV配置図	25
バングラデシュ派遣現況	26
NID時に使用したチェックリスト	27
WHO / EPI事務所発行のサーベイランス定期報告書(2000年12月号)	28
1999年6月～2000年1月までのJOCVによるAFPサーベイランス結果	37
ポリオに関する中央からコミュニティレベルまでの流れ図	38
AFP報告システム	39
調査団と隊員との協議時に提出されたペーパー	40
バングラデシュのポリオに関する各種統計資料	47
ポリオ対策の現状	62

ミャンマー編

1 . 調査目的と内容	97
1 - 1 調査目的	97
1 - 2 調査内容	97
1 - 3 団員構成	97
1 - 4 調査日程	97
2 . 調査結果	98
2 - 1 ポリオ対策の現状と課題	98
2 - 2 その他	100

附属資料

ミャンマー保健省資料	103
------------------	-----